

第22回

## こころ躍るリズム ～打楽器に親しむ～

### 学習のねらい

物体を打って振動させて音を出す打楽器は、オーケストラの楽器の中では最も歴史が古く、有史以前にさかのぼると考えられています。また、その形態もつくり出された初期の姿をとどめている数少ない楽器です。主としてリズムを演奏する役目を担いますが、素材によるさまざまな音色や母体となる民族性も感じられ、魅力ある一群を構成します。また打楽器をとおしてリズム・拍・拍子など、音の時間的な経過にも耳を傾けてみましょう。



講師  
青島 広志

### さまざまな打楽器の種類を知り聴き分ける

楽器の分類法にはいくつかの方法が考えられますが、打楽器の場合は、打たれて振動する物体の素材(材質)によって分けるのが一番わかりやすいでしょう。次のような素材が一般的です。

**【木質打楽器】** ……木および植物を素材とする。

ギロ（ひょうたん形の実に刻みを入れる）、ウッド・ブロック（木の箱）、マラカス（実と種）、クラベス（拍子木）、ムチ など

**【膜質打楽器】** ……動物の皮を張る。

大太鼓、中太鼓、小太鼓、ティンパニ など

**【金属製打楽器】** ……金属製の物体。

シンバル、トライアングル、銅鑼<sup>どら</sup>、バーチャイム など

中にはタンブリンのように膜と金属が同時に用いられ、マリンバ、グロッケンのように木・金属でありながらも鍵盤を持つ鍵盤打楽器もある。オーケストラの中に定席を持つものはティンパニで、古典派時代から一対（属音—主音）で用いられる。

### 多くの打楽器の音色 ～演奏を聴き、民族性にも興味を持つ～

打楽器は打つ器具によっても音色が変わり、さまざまな演奏方法が考え出されてきました。一般的には木の棒であるばち、先に玉のついたマレットを使いますが、金属打楽器には金属のばち、時にはシンバルのように両手で持った2枚の金属板を打ち合わせたり、ボンゴのように

素手で打つもの、先に針金が束ねられたワイヤブラシを用いることもあります。

各楽器はその素材が得やすい地域で生まれたと考えられ、木質のものは温帯で植物が繁茂しやすい地域で生まれ、暖かみのある音色が特性です。金属性のものは真鍮<sup>しんちゆう</sup>を特産とするトルコで発達し、鋭く輝かしい響きを持ち、それらを用いたトルコ行進曲は有名です。膜質のものは動物の生息地にはどこでも見られ、「太鼓（ドラム）」が打楽器の代名詞となりました。

## リズム・拍・拍子について知る

リズムとは、音の長さや音の出ている時間の長さによって生まれます。自然発生的で即興的なので、一般にはとらえがたいものという印象を受けます。

拍とは、そのリズムをとらえやすくするために人為的に一定時間ごとに刻まれる単位を加えたもので、人間の鼓動がその考え方の基となっています。

拍子とは、拍に乗ったリズムをさらにまとめるために、何拍かに1回の周期的な強度（アクセント）を人工的に設定し、曲の時間的な流れをまとめたものです。主な拍子には次のようなものがあります。

2拍子……強・弱の交代からなり、行進曲などに用いられる単位で力強い拍子。（譜1）

譜1 2拍子の例（4分の2拍子……4分音符が2拍）

シューベルト：軍隊行進曲

3拍子……強・弱・弱のパターンとなり、ワルツやメヌエットなどの舞曲に用いる。（譜2）

譜2 3拍子の例（4分の3拍子……4分音符が3拍）

レハール：メリー・ウィドー・ワルツ

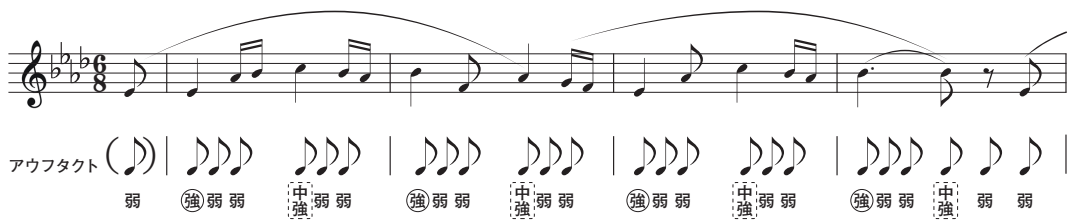
4拍子……3拍目にやや強い拍が現れる。西洋音楽では最も普遍的な拍子。(譜3)

譜3 4拍子の例(4分の4拍子……4分音符が4拍)  
ベートーヴェン：交響曲第9番第4楽章



6拍子……大きな2拍子の中に小さな3つの拍が入り、揺れる感じを表現する。(譜4)

譜4 6拍子の例(8分の6拍子……8分音符が6拍)  
成田為三：浜辺の歌



**ワードファイル**

- ばち……スティックとも言い、木でつくられた棒です。代表的なのは小太鼓のばちで、左右の手に持って交互に膜面を打ちます。
- ティンパニ……皮(現在ではプラスチック)を金属の胴の上に張り、その張力を変えることによって音高を変えることができる膜質打楽器。現在ではペダルで自由に調律できます。
- ワルツ……19世紀にウィーンで大流行した3拍子の舞曲。メヌエットのように宮廷舞曲ではなく、一般の人々が男女ペアになって回りながら踊ったので円舞曲と訳されています。

**♪ 今回取り上げる曲 ♪**

- バレエ音楽「ガイーヌ」から「剣の舞」 作曲：ハチャトゥリヤン
- 歌劇「フィガロの結婚」から「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」 作曲：モーツァルト
- ピアノ・ソナタ イ長調 K.331 「トルコ行進曲」 作曲：モーツァルト
- 「われらの過越の羊」 グレゴリオ聖歌
- 「軍隊行進曲」 作曲：シューベルト
- 歌劇「メリー・ウィドウ」から「メリー・ウィドウ・ワルツ」 作曲：レハール
- 交響曲第9番 第4楽章 「歓喜の歌」 作曲：ベートーヴェン
- 「浜辺の歌」 作曲：成田為三